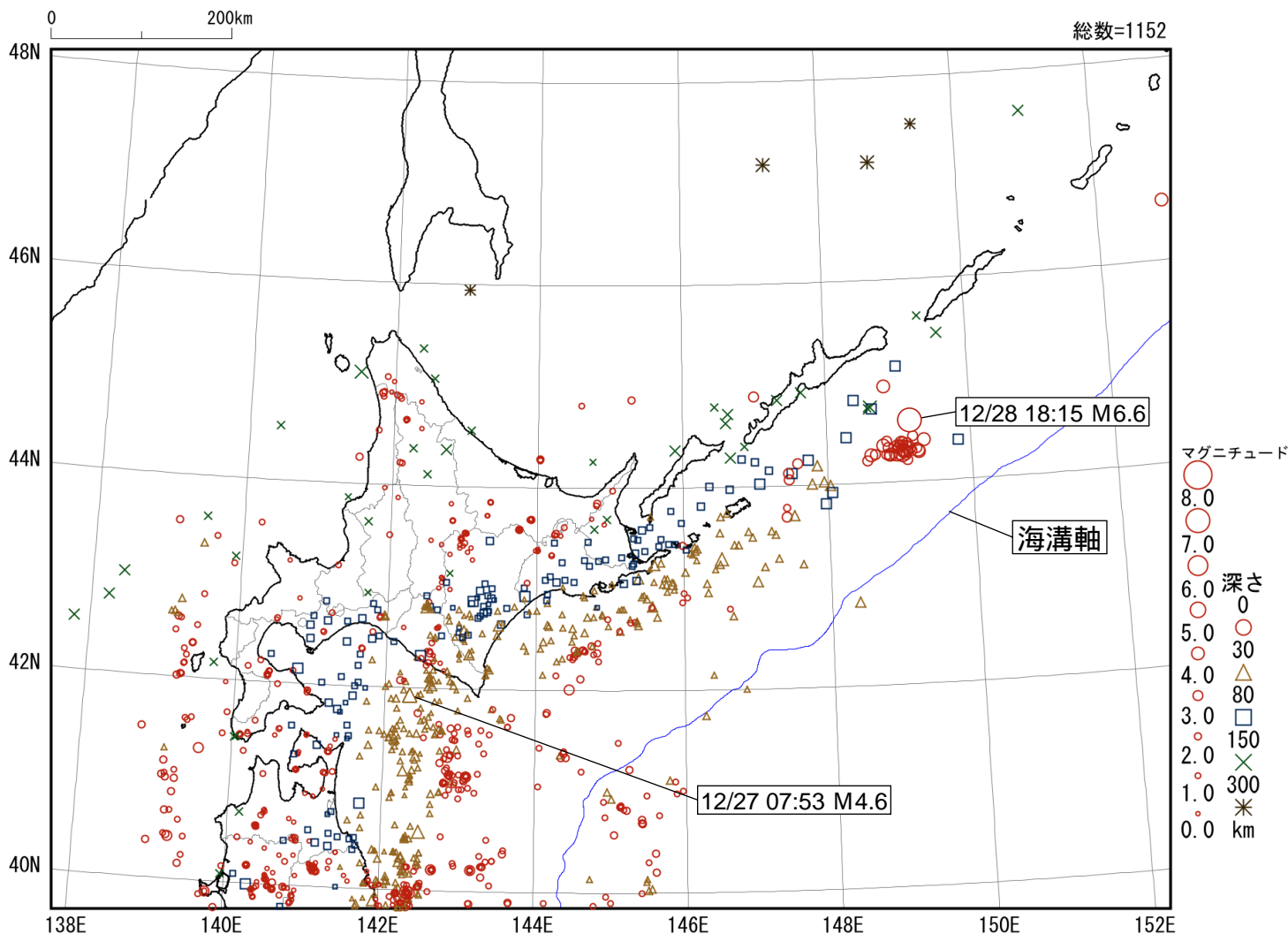


北海道の地震活動図

2023年12月1日～2023年12月31日

震央分布図

札幌管区気象台



地震概況（2023年12月）

この期間、北海道内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は15回（11月は16回）でした（「震度1以上を観測した地震の表」参照）。

27日07時53分、浦河沖の地震（M4.6、深さ70km）により、安平町及びむかわ町で震度3を観測したほか、道南を中心に震度2～1を観測しました。

28日18時15分、択捉島南東沖の地震（M6.6、深さ40km）により、新ひだか町及び浦河町で震度3を観測したほか、太平洋側を中心に震度2～1を観測しました。

（ 気象庁CMT解のセントロイドの深さは40km、気象庁震源カタログの深さは30kmになります。両者は計算手法が異なるため、深さに違い出ることがあります。 ）

この活動図は、札幌管区気象台のホームページに掲載しています。

https://www.data.jma.go.jp/sapporo/jishin/earthquake_report.html

この資料に関する問い合わせ先 札幌管区気象台 地震火山課 TEL 011-611-6125

北海道で震度1以上を観測した地震の表(2023年12月)

年月日 地方	時分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯(N)	東経(E)	深さ(km)	規模(M)
2023年12月1日 十勝地方	03時23分 震度1	十勝地方南部 更別村更別*(05)	42°20.4 N	143°06.4 E	50 km	M3.3
2023年12月4日 渡島地方	18時01分 震度1	渡島地方東部 函館市川汲町*(07)	41°54.7 N	140°57.9 E	10 km	M1.9
2023年12月13日 十勝地方	20時10分 震度2 震度1	十勝地方南部 浦幌町桜町*(15) 幕別町本町*(06) 十勝池田町西1条*(12) 豊頃町茂岩本町*(10) 本別町向陽町*(05)	42°38.0 N	143°29.5 E	69 km	M3.7
2023年12月13日 留萌地方	23時27分 震度1	留萌地方中北部 天塩町川口*(14)	44°54.3 N	141°49.6 E	13 km	M2.8
2023年12月15日 日高地方	06時36分 震度2	日高地方中部 新ひだか町三石旭町*(15)	42°20.6 N	142°34.8 E	0 km	M2.7
2023年12月16日 渡島地方	07時39分 震度1	青森県東方沖 函館市泊町*(06)	40°50.4 N	141°42.3 E	93 km	M3.7
2023年12月16日 網走・北見・紋別地方	14時09分 震度1	網走地方 斜里町本町(06)	43°51.0 N	144°49.2 E	10 km	M2.8
2023年12月17日 根室地方	18時22分 震度1	根室半島南東沖 根室市落石東*(12) 根室市瑤瑤*(09)	43°17.7 N	146°30.7 E	45 km	M4.2
2023年12月22日 日高地方	18時30分 震度1	浦河沖 新ひだか町静内山手町(06) 新ひだか町三石旭町*(08) 浦河町野深(09) 浦河町潮見(10) 浦河町築地*(10) えりも町えりも岬*(05)	42°02.3 N	142°35.6 E	63 km	M4.0
2023年12月24日 根室地方	06時04分 震度1	根室半島南東沖 根室市瑤瑤*(10)	43°02.8 N	145°49.8 E	39 km	M3.6
2023年12月24日 胆振地方 十勝地方	20時55分 震度1 震度1	十勝地方中部 安平町早来北進*(05) むかわ町穂別*(06) 新得町2条*(05) 帯広市東6条*(07) 十勝清水町南4条(05)	42°52.3 N	143°08.6 E	106 km	M3.7
2023年12月27日 胆振地方	07時53分 震度3 震度2 震度1	浦河沖 安平町追分柏が丘*(28) むかわ町松風*(27) 胆振伊達市大滝区本町*(16) 厚真町鹿沼(23) 厚真町京町*(16) 安平町早来北進*(18) 胆振伊達市梅本(09) 胆振伊達市末永町*(12) 壮瞥町滝之町*(07) 室蘭市寿町*(12) 苫小牧市末広町(12) 苫小牧市旭町*(13) 登別市鉾山(08) 登別市桜木町*(11) 白老町大町(12) 白老町緑丘*(08) むかわ町穂別*(14)	41°55.2 N	142°19.4 E	70 km	M4.6
石狩地方	震度2	新篠津村第47線*(16) 札幌北区太平*(15) 札幌東区元町*(21) 江別市緑町*(18) 千歳市北栄(17) 新千歳空港(16) 千歳市若草*(19) 千歳市支笏湖温泉*(15) 恵庭市京町*(21) 北広島市共栄*(18)				
震度1		石狩市聚富(11) 当別町白樺*(13) 札幌中央区北2条(06) 札幌北区篠路*(11) 札幌北区新琴似*(12) 札幌白石区北郷*(13) 札幌豊平区月寒東*(08) 札幌南区川沿*(08) 札幌南区石山*(13) 札幌西区琴似*(07) 札幌厚別区もみじ台*(13) 札幌手稲区前田*(10) 江別市高砂町(12) 札幌清田区平岡*(10)				
渡島地方	震度2	函館市泊町*(15) 函館市新浜町*(17)				
震度1		函館市尾札部町(08) 函館市川汲町*(12) 鹿部町宮浜*(06)				
空知地方	震度2	南幌町栄町*(19) 長沼町中央*(16)				
震度1		夕張市若菜(11) 岩見沢市5条(12) 岩見沢市鳩が丘*(09) 岩見沢市栗沢町東本町*(13) 美唄市西5条(07) 美唄市西3条*(06) 三笠市幸町*(14) 由仁町新光*(13) 栗山町松風*(11) 月形町円山公園*(12)				
日高地方	震度2	日高地方日高町門別*(21) 平取町振内*(15) 新冠町北星町*(24) 新ひだか町静内山手町(24) 新ひだか町静内御幸町*(22) 新ひだか町三石旭町*(21) 浦河町潮見(17) 様似町栄町*(15)				
震度1		平取町本町*(07) 新ひだか町静内御園(12) 新ひだか町静内農屋*(05) 浦河町野深(13) 浦河町築地*(14) えりも町目黒*(08) えりも町えりも岬*(08)				
後志地方	震度1	小樽市勝納町(13) 小樽市花園町*(05) 余市町浜中町*(06)				
十勝地方	震度1	新得町2条*(09) 帯広市東4条(11) 帯広市東6条*(11) 音更町元町*(09) 士幌町士幌*(05) 十勝清水町南4条(10) 芽室町東2条*(08) 幕別町忠類錦町*(12) 十勝池田町西1条*(08) 本別町北2丁目(07) 本別町向陽町*(05) 浦幌町桜町*(13) 十勝大樹町東本通*(08) 広尾町並木通(11) 広尾町白樺通(11)				
2023年12月28日 日高地方	18時15分 震度3 震度2	択捉島南東沖 新ひだか町静内山手町(25) 浦河町潮見(25) 新冠町北星町*(24) 新ひだか町静内御幸町*(23) 浦河町野深(19) 浦河町築地*(23) 新ひだか町静内御園(10) 新ひだか町三石旭町*(13) 様似町栄町*(13)	44°36.1 N	149°09.2 E	30 km	M6.6
網走・北見・紋別地方	震度1					
震度2		清里町羽衣町*(16)				
震度1		斜里町本町(12)				
胆振地方	震度2	むかわ町松風*(16)				
震度1		厚真町鹿沼(10) 安平町早来北進*(10)				
十勝地方	震度2	浦幌町桜町*(18) 十勝大樹町東本通*(15)				
震度1		新得町2条*(12) 足寄町上螺湾(05) 帯広市東4条(09) 帯広市東6条*(11) 十勝清水町南4条(14) 幕別町忠類明和(06) 十勝池田町西1条*(11)				

年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (km)	規模 (M)
釧路地方	震度 2	本別町北 2 丁目 (10) 中札内村東 2 条 * (12) 釧路市黒金町 * (16) 釧路市阿寒町中央 * (15) 釧路市音別町中園 * (17)				
	震度 1	釧路町別保 * (21) 厚岸町真栄 * (15) 標茶町塘路 * (17) 白糠町西 1 条 * (20) 弟子屈町美里 (11) 弟子屈町弟子屈 * (11) 弟子屈町サウンチサップ * (08) 釧路市幸町 (14) 釧路市阿寒町阿寒湖温泉 * (11) 厚岸町尾幌 (09) 浜中町湯沸 (09)				
根室地方	震度 2	標茶町川上 * (12) 鶴居村鶴居東 * (13) 中標津町丸山 * (19) 標津町北 2 条 * (19) 別海町常盤 (21) 別海町本別海 * (18)				
	震度 1	根室市厚床 * (15) 根室市落石東 * (20) 根室市瑛瑠瑠 * (15) 中標津町養老牛 (05) 標津町古多糠 (09) 標津町薫別 * (08) 羅臼町春日 (07)				
石狩地方	震度 1	羅臼町緑町 * (13) 羅臼町岬町 * (14) 根室市弥栄 (08) 根室市牧の内 * (09) 札幌北区篠路 * (09) 札幌東区元町 * (06) 札幌白石区北郷 * (05) 札幌手稲区前田 * (07)				
2023年12月28日 渡島地方	22時16分 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町 * (14)	40° 34.8 N	142° 29.4 E	43 km	M4.5
2023年12月30日 石狩地方 渡島地方 胆振地方	15時07分 震度 1 震度 1 震度 1	日高地方西部 千歳市北栄 (07) 新千歳空港 (06) 千歳市若草 * (10) 千歳市支笏湖温泉 * (06) 函館市泊町 * (05) 厚真町鹿沼 (05) 安平町早来北進 * (09) 安平町追分柏が丘 * (09) むかわ町穂別 * (10)	42° 48.6 N	142° 31.8 E	35 km	M4.1
日高地方 十勝地方	震度 1 震度 1	平取町振内 * (11) 新冠町北星町 * (13) 新ひだか町三石旭町 * (05) 新得町 2 条 * (14) 十勝清水町南 4 条 (08) 十勝池田町西 1 条 * (08)				

* のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。
()内の数値は0.1単位の詳細な震度（計測震度）の小数点を省略して表しています。

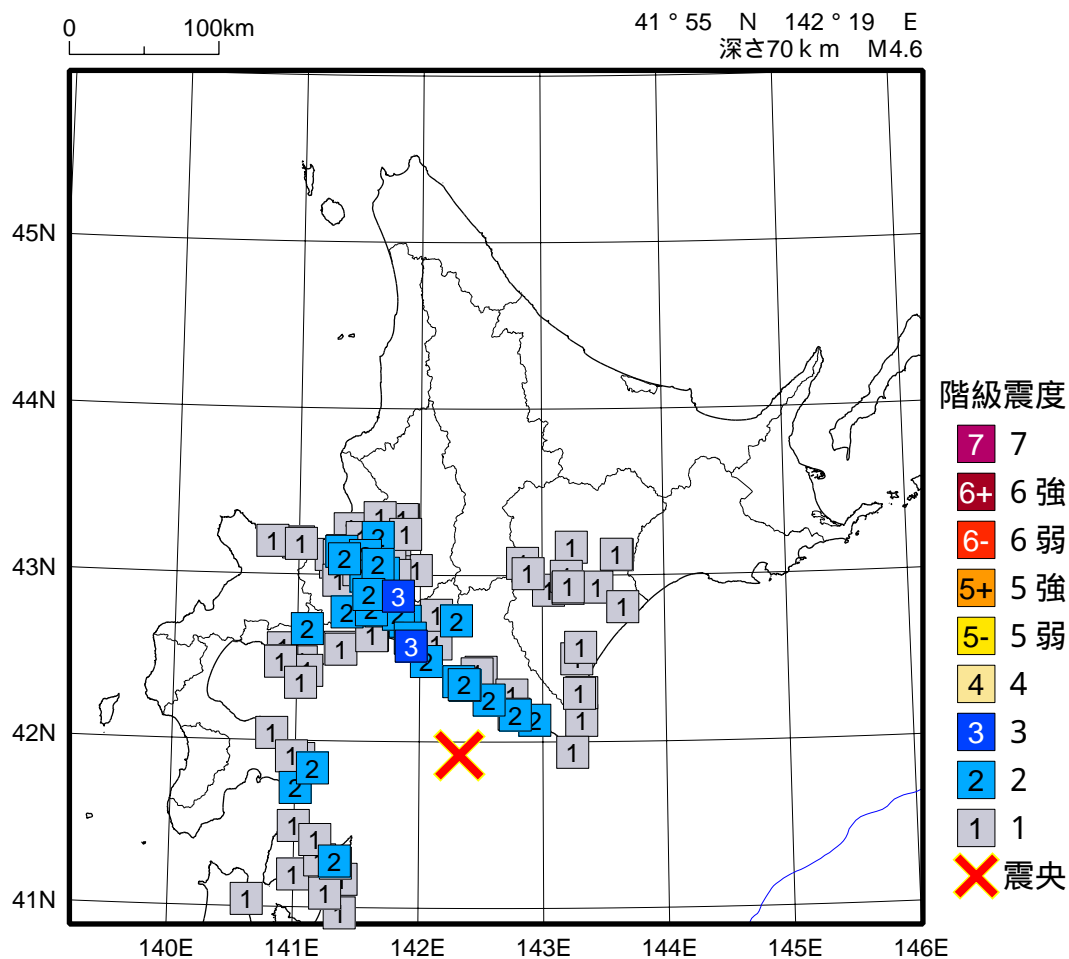
計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

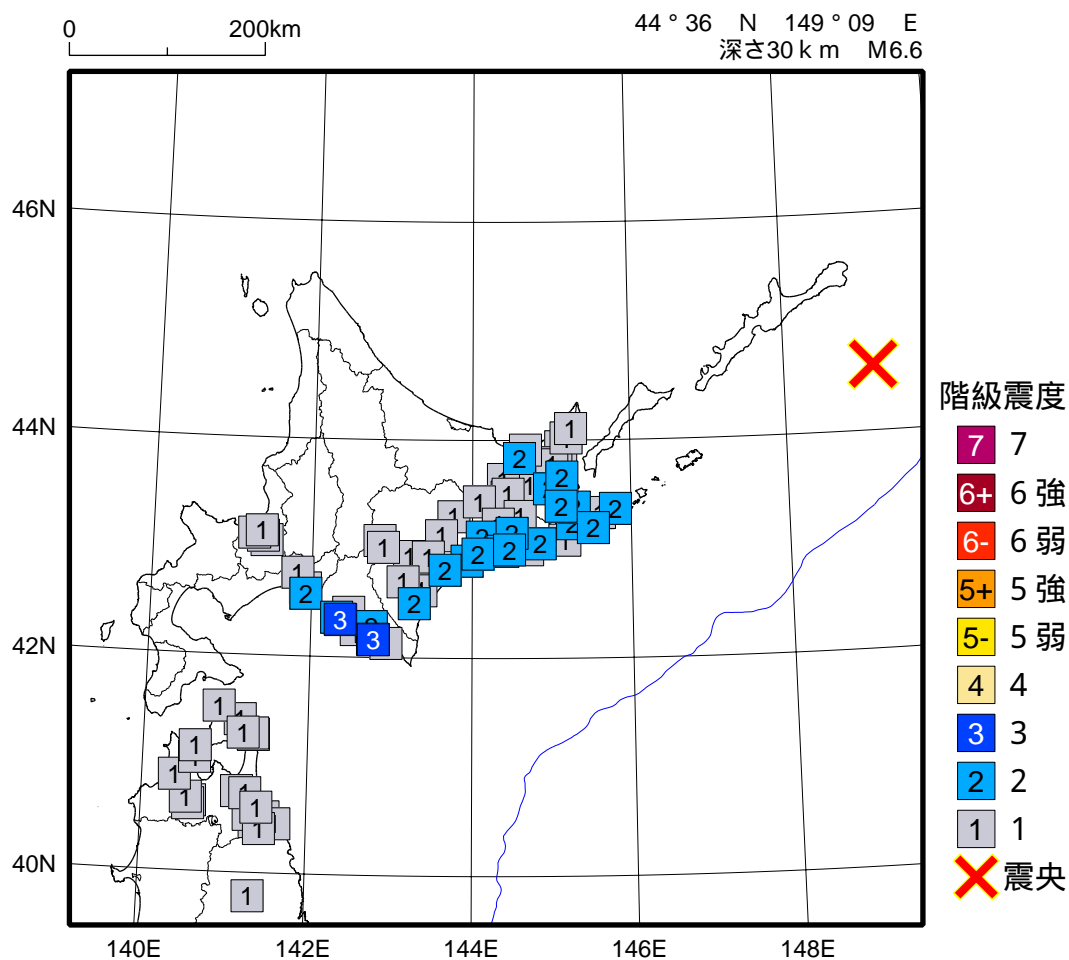
本資料の利用にあたって

- 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

2023年12月27日07時53分 浦河沖の地震の震度分布図



2023年12月28日18時15分 択捉島南東沖の地震の震度分布図



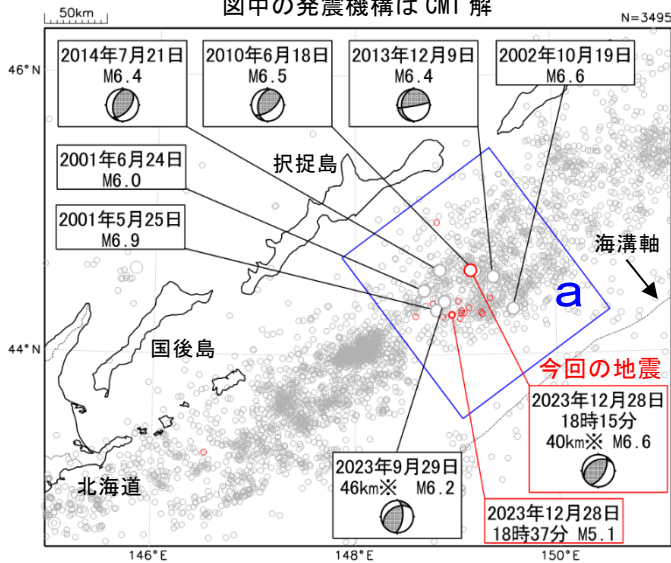
12月28日 択捉島南東沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日~2023年12月31日、
深さ0~100km、 $M \geq 4.0$)

2023年12月の地震を赤く表示

図中の発震機構はCMT解



※深さはCMT解による。

2023年12月28日18時15分に択捉島南東沖の深さ40km (CMT解による) でM6.6の地震 (最大震度3) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。今回の地震発生後、28日18時37分にM5.1の地震が発生するなど、この周辺で地震活動がやや活発となった。

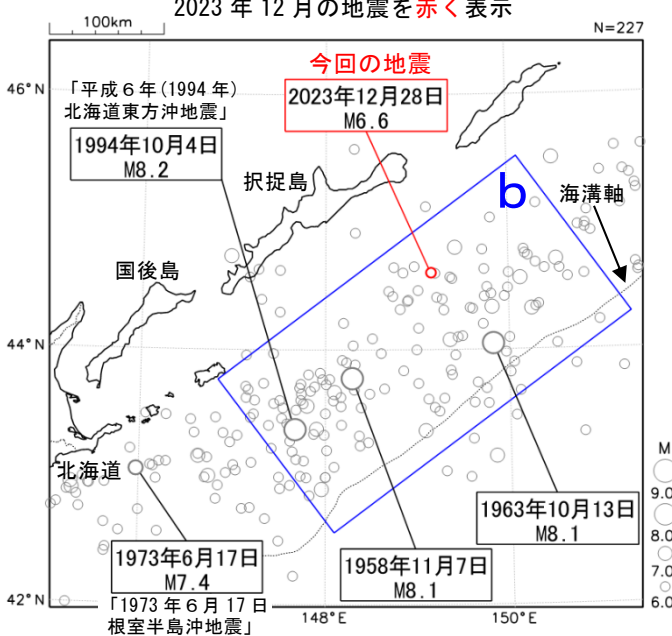
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近 (領域a) では、M6.0以上の地震が時々発生しており、直近では、2023年9月29日にM6.2の地震が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、M8.0以上の地震が3回発生している。1994年10月4日に発生した「平成6年 (1994年) 北海道東方沖地震」 (M8.2、最大震度6) では、根室市花咲で168cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測するなど、北海道から沖縄県にかけて津波を観測したほか、負傷者436人、住家被害7,764棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

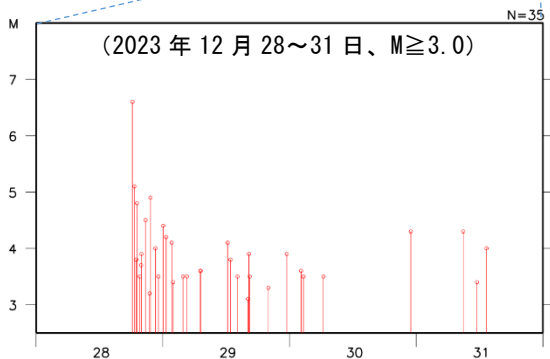
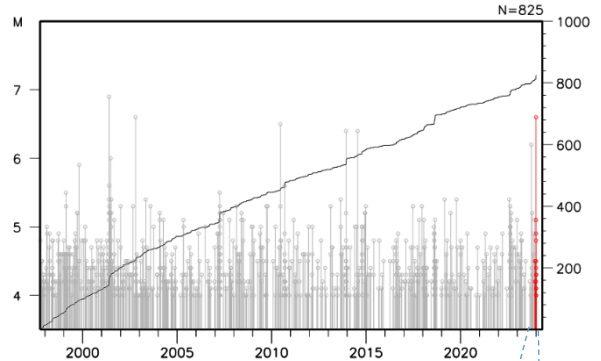
震央分布図

(1919年1月1日~2023年12月31日、
深さ0~100km、 $M \geq 6.0$)

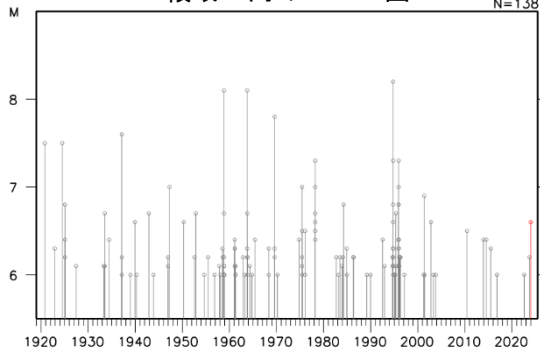
2023年12月の地震を赤く表示



領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図



【防災メモ】

～冬の地震・津波への備え～

発生が切迫している日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震・大津波をはじめ、冬に大地震が起こると、強い揺れや津波の被害に加え、雪や寒さによるリスクが増大します。怪我をしたり、命を失うことなど無いよう、冬の大地震や津波には以下の点に注意して備えて下さい。

1. 雪や凍結路に対する備え

屋根に多量の雪が積もっていると、地震の揺れにより、屋根から落雪したり、雪の重みで家屋が倒壊したりする恐れが大きくなります。落雪は人を巻き込む危険があるほか、避難路をふさぐ原因にもなりますので、十分に注意しましょう。また、山沿いや傾斜地の雪崩危険箇所では、雪崩にも注意してください。

冬季に地震・津波から避難する場合、路面の積雪や吹雪などにより時間がかかります。避難場所までの経路は事前に確認しておきましょう。路面が凍結していると滑りやすく、避難の移動中に転倒して負傷する恐れもあるため、路面状況をよく確認し慌てず避難しましょう。



2. 火災に対する備え

暖房を使っている冬場に地震が発生すると火災のリスクが高まります。転倒時の自動停止機能があっても、停電から復電すると再起動したり、損傷した電気配線から漏電したりして出火する「通電火災」に注意が必要です。暖房器具のそばには可燃物を置かないようにして下さい。避難の際は、ブレーカーを切ってガスの元栓を閉めるようにしましょう。地震を感知して自動的に電気を遮断する感震ブレーカーを設置することも有効です。



3. 寒さへの備え

地震で電気やガスが止まり、普段の暖房器具が使えなくなるかもしれません。こんな時にも使用できるポータブルの暖房器具があると安心です。また、避難時に低体温症にならないため、防寒着や防寒靴、毛布、カイロなども用意しておきましょう。冬季は身支度に時間がかかるので、これらは玄関などにまとめて用意しておくといいでしょう。



4. 雪についての情報

気象庁ホームページでは「今後の雪」の情報を提供しています。積雪の深さと降雪量の分布について、各地の24時間前からの状況と6時間先までの予想が地図上で確認できますので、避難路の確保等にご活用ください。

「今後の雪」 <https://www.jma.go.jp/bosai/snow/>

